

## 平成 19 年度 第 3 回図書館協議会 会議概要 (要旨)

- 1 協議会名.....平成 19 年度第 3 回安曇野市図書館協議会
- 2 日 時.....平成 20 年 3 月 27 日 午後 1 時 30 分から午後 3 時 45 分 まで
- 3 会 場.....明科総合支所大会議室
- 4 出席者..... 理事長、望月副会長、青木委員、清沢委員、小福委員、金子委員、千国委員、小林委員、加々美委員、三重野委員、二村委員、熊井委員、堀委員
- 5 市側出席者.....望月教育長、松枝社会教育課長、保崎豊科図書館長、尾台穂高図書館長、三澤三郷図書館長、唐沢堀金図書館長、百瀬明科図書館長、高原社会教育課長補佐、曾根原社会教育課長補佐、等々力穂高教育課企画員、有賀文化振興係副主幹、小川文化振興係副主幹、内川文化振興係主査、財津文化振興係主査
- 6 公開・非公開の別.....公開
- 7 傍聴人 0 人.....記者 0 人
- 8 会議概要作成年月日.....平成 20 年 3 月 31 日

### 1.開会 (松枝社会教育課長)

### 2.会長あいさつ (理事長)

### 3.教育長あいさつ (望月教育長)

### 4.協議事項

#### (1)平成 19 年度図書館事業報告について

#### 事務局・【資料内容説明】

委員・・・各図書館活動広範囲だが、ご意見があれば。

委員・・・スタンプラリーおすすめ本はどのくらいを対象とした人数か。

事務局・10冊を図書館が選び、スタンプラリーの期間展示した。

委員・・・スタンプラリーの方に思い出に残る、お勧めの本はというのがあったので、800人対象でどれくらい帰ってきたか分析させているかどうかお聞きしたかった。

事務局・豊科図書館では200枚ほど回収した。記入していただいた方は40人ほど。

委員・・・明科の館内企画、続けてやっていただきたい。三郷で募集人員を減らしたいとあるが、後ろ向きの考えだと思う。やりかたを考えることは出来ない。

事務局・マイクロバス、実習室などの収容人員の関係で制限せざるを得ない。

委員・・・講座などの予算は、それぞれどのように図書館の配分しているのか。堀金図書館は予算がないからできないのではないか。

事務局・資料はある程度人口比率などを考慮し配分しているが、講座の講師料は各図書館の要望を取りまとめてあげているという状況。中央図書館が開館した後は、中央図書館を核として地域の特色も考慮しながら地域図書館の講座についても予算組みや企画などにもかかわっていくことになると思う。

委員・地域図書館の活動も増やしていただければと思う。

#### (2)対面朗読サービス等の実施について

#### 事務局・【資料内容説明】

委員・・・主に視覚障害者サービスについてのご説明だったと思いますが、ご質問などあれば。

委員・・・大活字本はどのくらいあるのか。

事務局・穂高図書館では200冊位。豊科、明科も200冊位。小説やエッセイなど。たくさん出版されていない。今後入れていきたい。

委員・・・増やしていく考えはあるか。

事務局・前回資料の資料収集計画にお示したとおり計画している。

委員・穂高図書館には機器類はもうはいつているのか。

事務局・平成20年度の事業として予定している。

委員・私は安曇野市の図書館で視覚障害者に対して、朗読者を公募して始めたということが大変評価している。これを立ち上げてやっていくことは非常に大変なこと。ボランティアに対する行政の考え方、安曇野市図書館のカラーをもって、たち切れならないよう、ボランティアをひっぱっていただきたい。

委員・ボランティアに対する対応についての質問だが。

事務局・ボランティアの方々でひとつの会をつくっていただくということは今の段階では想定していない。図書館サービスとして個々のボランティアさんにご連絡しお願いする。若干の謝礼は用意。経験されたことのない方もいらっしゃるので、研修会を開催し、場合によってはの不自由な方にもご参加していただきながら、豊かに発展していくように努力して行きたい。

委員・利用される方がどの程度いらっしゃるかは全く未定だが、たとえ1人きりであっても、全く利用がなくてもそのときはそのときで考えるというかたちですすめていってほしい。

委員・障害者団体とのすり合わせ、話し合いは行っているか。

事務局・市の障害者福祉係の紹介で、元高校の教員をされていて視覚障害者対象のパソコン教室の指導をされている方に障害者サービスを進めるにあたってご相談しご指導いただいた。

委員・実際に図書館に来て、点字ブロックすらない。読み聞かせをする人が手を引っ張ってつれていくことはできないのではないかと。穂高スロープ車椅子ただの一度も車椅子みたことがない。無しでもよし、使いづらい

事務局・事業をやろうとしても対象となる方が少ない。障害をお持ちの方はなかなか図書館に来にくいということもあり、障害者団体から呼びかけてもらうということは効果的ではないかと思う。

委員・今月の広報にこのことが掲載され、もうすでに始まっているとも思っている。さてそれではどの程度利用があるか、登録がどのくらいあるのか、じゃあ今度は障害者の方にも接触してみよう、といったかたちですすめていくしかない。行政が講習会を開いてボランティアを養成してくれた。こんなありがたいことはないと思っている。

委員・コストということも考えていかなければいけない。マスコミ等を通じて大々的に広報にやっていくべき。イベントも記事よりもこの方が大切。

事務局・先日も信濃毎日新聞の取材を受けた。問い合わせも来ているが、4月1日からということもあり掲載のタイミングを調整してもらっている。貴重なご提言を頂戴した。利用していただけるよう努力を重ねていきたいと思っている。

委員・素晴らしいことをはじめた。第一歩からはじめようということで、広報も含めて4月からというご説明。

### (3) 中央図書館の開館に向けて各図書館の開館時間及び休館日について

事務局・前回の会議からの継続ということで、20年度の図書館協議会のある程度の段階で結論を出したい。今日から議論のポイントを絞らせていただきたいということで「地域図書館の開館時間を設けることの是非について」ということをご協議をお願いしたい。

委員・全市統一の時間にしてほしい。交互に遅い時間をつくってほしい。

委員・前回は勤めの人もいらっしゃるので開館時間を遅くまでしたらという意見があったが、そういうことを考慮していくと館や日ごとに開館時間が違うということはアンバランスではないか。

委員・地域の特性にあったやり方でよいと思う。人数の多いところもあれば少ないと思う。豊科の人が明科の図書館が遅くまでやっているからそっちへ行こうという人はほとんどないと思う。午前10時から午後6時までというのを基本として、地域の実情にあわせればよいと思う。明科が20時まで

になったという経過がある。それなりの本の貸出し数を活動のバロメータを求めたということで今回の資料が出たのだと思うが、誠にいいデータだと思う。明科には児童館があるので子どもたちの勉強部屋としての利用等もある。

委員・・地域の実情にあわせということでもいいと思う。

委員・・中央図書館と地域図書館は役割が違う。地域図書館は地域の実情にあわせということでもいいと思う。それよりも祝日はどこかの図書館が開いているということの方が重要。

委員・・地域図書館は午前 10 時から午後 6 時までというのを基本として、地域の実情にあわせればよいと思う。合併したからすべて一律にというのはどうかと思う。

委員・・明科図書館は空間を利用するということはどうでしょうか。多いのでしょうか。

事務局・あまり多くはない。明科図書館は午後 7 時 30 分までということなので、2 交代制にしなければいけない。コストがもちろんかかる。もう少し短くしていただけないかという思いがある。しかしサービス低下ということであれば職員体制をしっかりとる必要がある。

委員・・明科図書館がなぜ午後 7 時 30 分までになったかということは、駅が近いということで通勤帰りの方の利用、スーパーの買い物帰りの利用などを考え、理想論として始まった。現状利用が少ないということであれば考えなおす必要があると思う。私は地域に差をつける必要はないと思う。祝日開館しているのであれば、自分の休みを利用することができるので、開館時間は一律で開館日をずらす方がいいと思う。

委員・・全館同じでいいと思う。三郷の午後 5 時はあまりに早いと思う。アンケートでも長くという意見を無視してはいけないと思う。三郷に住んだから 5 時までで明科に生まれたなら 7 時までというのはどうかと思う。反面豊科の職員が午後 6 時閉館で何時までに館内にいらっしゃるか観察していたら、一番早くお出になった方が 6 時 45 分だった。女の立場としては少しかわいそうだなと思った。それ以上はどうかと思う。

委員・・地域館という位置づけの館は一律でいいと思うが、中央館は長くしてほしいと思う。

委員・・住民サービス、住民サービスといってあまりにも懐を広げすぎているのではと思う。行政の人達も住民。普通の人間が考える時間帯でいいと思う。予断だが商店も一晩中開けているが、働く側の家庭はどうなっているのかといつも思う。私も半年ばか交代性のところで働いたがつらかった。みんなが住民。

事務局・私どもの立場でお話させていただきたい。明科には地域性ということがある。駅が近い、駅で子どもたちがバスを待つ時間があるが、アップルランドのなかで待つというわけにはいけない。三郷も生涯学習の講座など関係で午前 9 時からとし、その分夕方は午後 5 時までとした。職員の安全管理という部分は私たちの責任があるので、ご心配いただくことはありがたいが、司書の安全管理がゆえに地域のもとめるサービスを縮小するというのではなく、区別してご議論いただければありがたい。

委員・・論議したけれどまとまらなかったということで、両論併記でいいのではないかな。

事務局・図書館協議会の役割として、議会にご議論いただく前段としてある一定の方向を見出してほしいという思いはある。一定にしなければいけないという認識はもっていない。職員は大変だからということではなくで、利用者がどうかというふうにと考えると明科の午後 6 時以降の利用者が全体の 6%、三郷の午前 9 時代の利用者が 7%というのは決して少なくはないという思いがある。現状としては引き続きでもいいのではないかなとも思う。

委員・・経費のことは住民を考えるべきだと思う。住民がもっと手を出せば、経費を抑えられるのにと思うことがある。利用者が少なく、職員の方がもっと短くしてもいいと思っているのであれば考えるべきではないか。住民にもっと経費の意識をもってほしいという行政の方からの意見があってもいいと思う。

事務局・私は（明科の）6%、（三郷の）7%は決して少なくはないと思っていますと申し上げた。ただ

し住民の代表である皆様方が、エネルギーコストを下げるという意味でより効率的にいうご提言いただければそれを参考にする。

委員・・富士見町の図書館にいったときの感想としては、開館時間の長さというのは住民サービスにはつながるが、職員の方にとってはどうかということと、初めてしまったら見直すことが難しいと思う。はじめが肝心だと思うので、地域の実情をよく考慮することが重要。

委員・・穂高でスポーツクラブに入っているが、50人のうち5人しかいない。図書館が前面に出て、もっとPRしてほしい。皆さんの図書館の利用の仕方をうまくPRすれば時間を一定でもいいと思う。

委員・・前回、今回のご議論いただいたが、結論はでなかった。

(4)その他について

事務局・長野県図書館横断検索システムが来年3月にスタートする予定。

5. 館長あいさつ

6. 閉会